

芸術文化だより

第56号

令和3年9月25日

発行者

習志野市芸術文化協会

会長 中谷 時男

編集長 小笠原仁仙

◆習志野市芸術文化協会／広報◆

題字 吉原 聚堂



第37回芸術祭第2会場



芸術って何!!

習志野市芸術文化協会副会長

杉田 英男

私事に成りますが、あとろえ菊田と言う絵画サークルに入会し、四十二年に成ります。習志野市芸術文化協会にお世話になり八年目に入りました。大変な役を仰せつかり私にとっては荷が重い。「習志野市芸術文化協会」：今迄は余り考えませんでした、が、改めて考えた。芸術ってなんだろう？ 辞書を引いてみた。広辞苑では、art一定の材料、技術、身体、などを駆使して鑑賞的価値を創出する人間の活動およびその所産、絵画、彫刻、工芸、建築、詩、音楽、舞踊、などの総称となっている。「ウィキペディア」では、表現者あるいは表現物と鑑賞者が相互に作用し合い精神的な活動。と出た。何だか堅苦しい。芸術文化は人々に感動や生きる喜びをもたらして人生を豊かにすると同時に社会全体を活性化する上で大きな力となるものでありその果たす役割は極めて重要です。

「文化庁」は言う。なるほど、岡本太郎画伯は「芸術は爆発だ」と述べている。ゴッホの絵も爆発している様に見える。私だけかな？
芸術は人間だけが創るものでもなく、自然界にも多く観られる。
例えば蜘蛛の巣や蜂の巣のハニカム構造、柱状節理、虹、その構造これ産業界にも多く取り入れられている。
私が思うに、よく観て聴いて感動し心に残る物が芸術かな？
芸文協にも、春には芸術祭、秋には文化祭、また各連盟の発表会と芸術文化に触れる機会は沢山あるので
連盟の方だけで無く、市民の皆様にも足を運んでもらえると遣り甲斐が沸く。
これからも習志野市の芸術文化が発展していきますようお願いしております。
話変わって高齢者の問題もある。私の所属の会も御多分に漏れず、皆さんを重ね教室に行くのも苦勞する。しかしながら家に閉じこもってしまふと、気力も体力も維持する事が困難になる。気張らず楽しみながら芸術に携わって行けたら最高。